

協議事項

(1) 令和7年度山形県ジェネリック医薬品安心使用促進事業計画(案)について

事業目的

令和5年度末の山形県におけるジェネリック医薬品の使用割合は、89.2%で全国3位となっている。

県としては令和6年度からの「第8次 山形県保健医療計画」及び「第4期 山形県医療費適正化計画」において、後発医薬品使用割合を85%以上とすることを目標としていることから、患者の経済的負担の軽減や、医療保険財政の改善のため、後発医薬品の使用割合の向上を目指し、その達成に向けて活動を行うこととする。

① 山形県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会の開催

ア 目 的 ジェネリック医薬品に関する使用状況等の情報共有や山形県ジェネリック医薬品安心使用促進事業計画(案)の協議を行う。

イ 開催日時 令和7年8月7日(木) 午前10時～午前11時30分

② 県内基幹病院におけるジェネリック医薬品採用リストの更新

ア 目 的

昨年度と同様、地域の中核的な役割を果たす医療機関で採用されているジェネリック医薬品を集約し作成した「汎用ジェネリック医薬品リスト」を更新して情報提供を行うことで、地域の医療機関や薬局におけるジェネリック医薬品の採用に資するようにする。

イ 方 法

(a) 県内における次の中核病院に対し、現在使用しているジェネリック医薬品リストの提供を依頼する。(令和7年10月頃)

山形大学医学部附属病院、県立中央病院、山形市立病院済生館、済生会山形済生病院、県立河北病院、北村山公立病院、県立新庄病院、公立置賜総合病院、米沢市立病院、日本海総合病院、鶴岡市立荘内病院(計11病院)

(b) リスト更新作業(令和7年11月～令和8年1月)

更新リストを県内医療機関(病院・薬局:合計約700施設)に送付するほか、当該リストを県ホームページに掲載する。(令和8年2月)

③ やまがた健康フェア2025におけるジェネリック医薬品の啓発活動

ア 目 的 ジェネリック医薬品に関する啓発資材、各種ポスターやリーフレットを活用し、県民へジェネリック医薬品使用への理解を深めていく。

イ 実施方法

開催時期	令和7年9月13日（土） 10：00～15：00（予定）
会 場	イオンモール天童
対象者	イオンモール天童の来場者
実施内容	・ポスターの掲示 ・教育資材の展示 ・薬剤師体験

④ 後発医薬品の製造に関する講習会の実施

ア 目 的 ジェネリック医薬品の供給不安の解消に向けた講習会を開催する。

イ 実施方法

開催時期	令和7年11月16日（日）14：00～16：00（予定）
会 場	霞城セントラル 3階 大会議室
対象者	医師、歯科医師、薬剤師等
講 師	日本ジェネリック製薬協会 川俣 知己氏 山形県健康福祉部健康福祉企画課 薬務担当
内 容	ジェネリック医薬品の使用等の現状やバイオシミラーについての情報提供